

## アジア・太平洋研究センターとエクステンション・カレッジの共同主催，外国語学部アジア学科共催

### インドネシア影絵芝居 ワヤン公演

日 時：2010年3月27日（土）

場 所：名古屋キャンパス G30 教室

解 説：松本亮（日本ワヤン協会主宰）

出 演：中辻正（日本ワヤン協会）

演 目：「アルジュノの饗宴」（マハーバーラタより）



ワヤン公演（影絵）



ガムラン演奏の様子

日本ワヤン協会を創設した松本亮氏は、長年日本各地でワヤンを上演する一方、ここ数年は本場インドネシアでの国際ワヤン大会への出演を重ね、インドネシアとの文化交流を精力的に続けてこられた功労者である。今回は、松本氏、ならびに日本を代表するワヤンの人形遣い（ダラン）である中辻正氏をお招きし、古典ワヤンの代表的演目である「アルジュノの饗宴」（マハーバーラタより）の公演を頂いた。

なお、ワヤンの公演に先立って、1）本学エクステンション・カレッジ講座の「ジャワ・ガムラン演奏入門」（講師：風間純子氏）受講者有志によるガムラン（インドネシアの伝統楽器で、ワヤンの伴奏にも用いられる）の生演奏、および2）松本亮氏による「ワヤン鑑賞にあたっての解説」がなされた。

演目「アルジュノの饗宴」は、東部ジャワ・クディリ王国のイルランガ王（在位 1019 - 1049）治下の宮廷詩人ムブ・カンワによる叙情詩で、珠玉の名編として知られている。当時の王に対して正面から国難に立ち向かうよう諫めるにあたって、王

## インドネシア影絵芝居 ワヤン公演

を英傑アルジュノに擬し、アルジュノが数々の苦行や試練を乗り越え、天界の美女スプロボの協力を得ながら、遂には怪物ニウオトカウォチェを倒すというストーリーとなっている。

当日は、子ども連れの姿も目立ったが、10代から70代までの幅広い年代にわたり約400名の来場者があり、G30教室が盛況となった。とりわけ、ア)ガムランの演奏で雰囲気盛り上げられたこと、イ)スクリーン上の影絵からのみならず、来場者が適宜スクリーンの裏側（G30の舞台上）に回って人形遣い（中辻氏）の熱演ぶりをじかに鑑賞できたこと、ウ)変化に富むストーリー展開とダイナミックな演技内容等が好評で、多数の来場者とともにしばし「インドネシアの夕べ」を味わう楽しいひとときとなった。

（文責：林尚志）